



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこばと

2020.1

No. 430

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



日本野鳥の会入会 50 年、おめでとうございます

昨年の 10 月、日本野鳥の会埼玉県支部（現日本野鳥の会埼玉）第 3 代支部長 松井昭吾さんが、日本野鳥の会入会 50 年を迎えられ、「永年在籍」制度を適用されることとなりました。後に続く私たち会員の励みにもなるかと思い、お話を伺ってきました。実に興味深い話ばかりですが、ほんの一部しかご紹介できません。これから先は探鳥会の際に直接伺ってください。

Q（編集部）：「入会 50 年」というと、感謝状や表彰状はありましたか。

A（松井さん）：「いやいや、A4 で 1 枚の『永年在籍制度適用についてのご案内（写真 左下）』だけです。それに “2020 年の更新より本部会費と家族会費を免除することができる” と書かれており、同封の葉書きに希望の有無を記入するだけです。もちろん YES！」と大笑い。

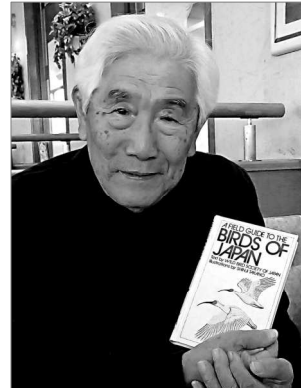
Q：「入会されたきっかけを教えてください」。

A：「それは高野伸二先生！ 私は当時、東京都日野市多摩平に住んでいました。そこで奥様と一緒によく駅の方へリュックを背負って歩いている人をお見受けしました。ある日その人が朝日新聞の『人』の欄で“日本野鳥の会 東京支部支部長 高野伸二”と紹介

されていました」。

「早速ご自宅にお訪ねして、野鳥に関心があることを伝えたところ、一度一緒に野鳥を見ましよう、とお誘いを受けたんです」。

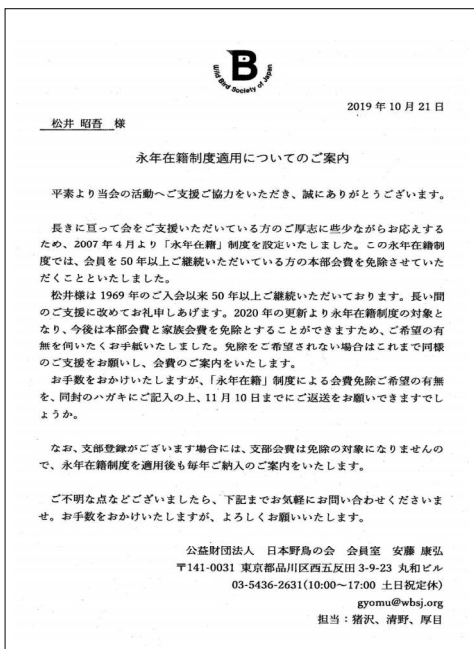
「最初の探鳥は奥様と一緒に団地周辺を歩きました。初めてスコープでカシラダカを見せられて、その素晴らしさに感動。以来、いろいろな探鳥会に誘われて参加しました。新浜では、鳥合わせの時に『これは松井さんが見つけたコミミズク！』と強調してくれ、初心者思いやる高野先生の温かいお人柄に感動しました（右ページ上 写真参照）」。



Q：「フィールドガイド英語版の執筆メンバーでいらっしやいますね（写真上）」。

A：「高野先生の一声で私も参加することになりました。どの鳥について執筆するかについても『どれをやりたい？』と私に選択させてくれました。大好きな『猛禽を・・・』と希望したところ、これも『はい、それでは松井さんが猛禽』と鶴の一声で決定。野鳥図鑑に自分の名前が載っている、こんな光栄なことはありません」。

「とにかく、いろいろな面で高野先生の影響が大きかったと思います。本部での海外のメンバーとの会合にも呼ばれ、次第に海外の



鳥インフルエンザと豚コレラの防疫のお願い 県鳥獣保護管理員 橋口長和

日本野鳥の会埼玉から3名が県の鳥獣保護管理員として職務についています。毎年、狩猟解禁を前に研修会が実施されています。

その中から、皆さまに関係ある情報についてお知らせします。

■鳥インフルエンザについて

環境省では野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関して、「渡り鳥の飛来経路の解明」、「鳥インフルエンザウイルスのモニタリング」、「渡り鳥の飛来状況のモニタリング」の3つの取り組みを行っています。

このうち、「鳥インフルエンザウイルスのモニタリング（ガンカモ類の糞便及び死亡野鳥から検体の採種を行いウイルス保有の有無をモニタリングする。また、死亡野鳥を適切に監視する）」について、われわれが普段フィールドで遭遇する可能性が高い死亡野鳥についての処理について解説いたします。

死亡野鳥について検査優先種が3分類されています。国内、近隣諸国で鳥インフルエンザが発生していない平常時でも**検査優先種1**は死亡個体1羽でも検査します。

検査優先種2については3羽以上、**検査優先種3**およびその他の種は5羽以上、1ヵ所に複数の死体があるときに検査します。詳しくは環境省のHPの「野鳥における高病原性インフルエンザに係る対応技術マニュアル簡易版」を参照してください。

死亡野鳥については、①交通事故等の轢死体、②猛禽類による食痕、③水没死体、④腐乱が進んで検体とならないもの、は除きます。発見した場合は、手を触れずに地域の埼玉県環境事務所または県庁みどり自然課野生生物担当に連絡してください。

検査優先種 1 (17 種)

ヒシクイ、マガン、シジュウカラガン、コクチョウ、コブハクチョウ、コハクチョウ、オオハクチョウ、オシドリ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、マナヅル、ナベヅル、コリカモメ、オオタカ、ハヤブサ

検査優先種 2 (11 種)

マガモ、オナガガモ、トモエガモ、ホシハジロ、スズガモ、オオバン、オジロワシ、オオワシ、ノスリ、クマタカ、フクロウ

検査優先種 3

カワウ、アオサギ、及びカモ科、カイツブリ科、ツル科、カモメ科、タカ科、フクロウ科、ハヤブサ科(各科とも検査優先種1、2以外の全種)

■野生イノシシの豚コレラ防疫について

令和元年10月24日までに、県内で豚コレラ陽性が確認された野生イノシシは合計11頭(検査頭数84頭)。陽性が確認された市町村は秩父市、長瀨町、本庄市、皆野町、神川町の5市町です。

野生イノシシが飼育豚に接触することは考えられず、その間に人間が関与しているはずです。探鳥のために、これら市町にある登山道やハイキングコースを利用された方は、その靴のまま養豚場に近づかないことと、帰宅後靴底の石鹸洗浄や消毒にご協力ください。

くはみ出し行事案内>

千葉県銚子市・銚子漁港探鳥会 (要予約)

期日：3月7日(土)

集合：午前7時、東武新越谷駅西口ロータリー。

解散：午後7時30分ころ、東武春日部駅東口。

交通：往復貸切バス(小型25人乗り)を利用。

担当：入山、近藤、佐野、藤澤

費用：9,000円(バス代、昼食代、保険料等)

過不足の場合は当日清算。

定員：20名(最少催行人数16名)

申し込み：往復はがきに住所、氏名、電話番号を明記して入山博()

() まで。1月1日消印から受付開始。

見どころ：漁港を中心に、たくさんのカモメを見て、のんびり過ごします。

その他：昼食付(地魚を堪能)です。雨天決行。参加者には、後日、案内を郵送します。



野鳥情報

蓮田市 西城沼公園周辺 ◇8月25日、サシバ1が旋回。やがてもう1羽が加わり2羽で旋回。内1羽が鉄塔にとまった。8月28日、サシバ1が西の方から飛んできて、頭上で左折。北方の屋敷林に入った。8月31日、トビ1、旋回して西に流れた（長嶋宏之）。

川越市久下戸(53396473) ◇8月13日午前9時40分、鳴き声があるので探すと休耕田にコチドリ3。10時5分、田んぼから飛び出して、鳴きながら西方向へ飛ぶ不明種1。台風が近づいてきていて気になり田んぼに出かけたが静かだった。8月17日、午前9時15分、台風の後で所々に水が溜まった休耕田にコチドリ約20。人の気配で直ぐに飛び出してしまった。9時30分、水の入った休耕田にエリマキシギ1、草の間から頭が見えた。先に来ていたカメラマンに教えてもらう。9時50分、こちらも水の入った休耕田にムナグロ約130。飛び上がりそうで稲の影より観察する。土や草もあり賑やかで見ごたえあり。コチドリ10と一緒にいた。再度エリマキシギの場所に戻ると、草陰より出て水の中を歩き回り全身が見られた。8月18日午前9時、水の入った休耕田（昨日と同じ場所）でエリマキシギ2。同種のようなが大小はさずいぶん違う、♂と♀らしい。昨日の個体と同じかどうかは分からない。10時、水の入った休耕田にコチドリ30位とムナグロ2。その後、コチドリとムナグロが飛んでしまったが同じ場所にシロチドリ1が残っていた。コチドリも6程がいた。沢山降りていた時一緒にシロチドリもいたのだろう。9月2日、午前9時45分、所々に水がある休耕田で、コチドリ3が動いていた。10時、トウネン1、コチドリ30位。手前のトウネンに気づき、近寄るとコチドリが群れで飛び出して行った。10時45分、トウネン1、コチドリ19。水が入っている休耕田、草丈がのびて見えにくい。トウネンは近い所で見たがコチドリは広範囲

で動いていた。9月4日、午後12時20分、コチドリ5、声があるので探すと休耕田にコチドリがいた。12時25分、コチドリ12、すぐ近くの休耕田でもコチドリが動いていた（今村富士子）。◇8月18日午後、エリマキシギ2（下写真）、ムナグロ100+、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カワウなど（嶋田富夫）。



さいたま市緑区 大谷口公園(53396525) ◇8月13日、カワセミ3、子どもを連れていた（大井智弘）。

鴻巣市大間一丁目 ◇8月14日朝6時30分頃、アオアシシギの声が空から3声降ってきた。秋を感じさせるいい声だ。姿は見えていない。8月21日午後3時過ぎ、にわかには曇りだした空の高みを、数羽のショウドウツバメが弧を描きながら渡っていた。今季初認。例年なら立秋には姿を見るが、今年は台風多発のせいか初認が遅い（榎本秀和）。

春日部市倉常(54390622) ◇8月17日、セイタカシギ1、タカブシギ4（佐野和宏）。◇8月26日、**N36. 0254 E139. 7856**でムナグロ20±。今年生まれの若鳥も混じっていた。イソシギ1、ダイサギ1、セッカ、ヒバリなど。同日、**N36. 0204 E139. 7896**でセイタカシギ5、ツバメ、ムクドリ、アオサギ、ダイサギなど（長嶋宏之）。◇8月27日、かなり草が茂ってはいたが、休耕田でコチドリ17、イソシギ1、ヒバリシギ成鳥冬羽1。別の休耕田でセイタカシギ若鳥4、成鳥1が佇んでいた。8月31日、耕起され乾いた裸地に佇むムナグロ13、コチドリ3（鈴木紀雄）。

さいたま市見沼区 見沼自然公園 ◇8月18日午前7時40分頃、シラコバト1、公園の

池周辺の木立で1羽のシラコバトを確認した。11年間観察のために歩いていて初確認。足環は付けていなかった。他の方から聞いた情報だが3～4日は公園内で見られたようだ(大井智弘)。

上尾市戸崎(53397427) ◇8月22日、聖学院大学付近の鴨川でイソシギ2(嶋田富夫)。

蓮田市閨戸 N36. 0110 E139. 6320 ◇8月22日、サシバがNTTの鉄塔にとまっていた。今季ここでの初認(関口明宏)。

久喜市菖蒲町小林 ◇8月23日午後4時30分、アジサシ1。雨上がりの農道上の電線にとまっていた。この付近での観察は初めて(小貫正徳)。

さいたま市西区 大宮花の丘農林公苑 ◇8月24日、イソシギ1(嶋田富夫)。

蓮田市駒崎 N36. 0128 E139. 6258 ◇8月26日、農業集落排水処理施設前の電線にとまるツバメの群れの中にショウドウツバメ14(下写真)。ここでの今季初認(関口明宏)。



さいたま市緑区上野田 ◇8月27日、電線にとまる約40のムクドリの中にコムクドリ♂1(鈴木紀雄)。

川越市 伊佐沼 8月27日午後、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、セイタカシギ3、ハシブトガラス、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ(嶋田富夫)。

蓮田市駒崎 N36. 0142 E139. 6269 ◇8月28日、コムクドリ6～7がムクドリ20±と一緒に飛び回っていた(関口明宏)。

川越市通称南古谷地区 ◇8月24日、ヒバリシギ1、タカブシギ2、クサシギ1、コチドリ3(大井智弘)。◇8月28日、JR川越

線南側の水のたまった休耕田に約20羽のコチドリに混じって採餌する夏羽から冬羽に移行中のトウネン成鳥1。畔にジシギ類1佇む。体の下部(尾羽も含む)が草で見えなかったが、短めのクチバシなどからチュウジシギまたはハリオシギ(鈴木紀雄)。

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇8月28日、B区でムナグロ30飛来。稲刈り後の田に着地。キジ♀1と若鳥4が採餌((鈴木紀雄)。

行田市斎条 N36. 1749 E139. 4591 ◇8月29日、ヒバリ、ダイサギ、チュウサギ、アオサギなど(長嶋宏之)。

熊谷市(旧 大里町)屈戸 ◇9月1日午後4時30～5時30分、南古谷などにはシギ・チドリが来ているので、この辺はどうだろうということで1時間ほどかけて田園地帯を探索してみる。田んぼでコチドリ、タシギ、タマシギにジシギ類が確認できた(大畑祐二)。

春日部市大増 N35. 96005 E139. 73155 ◇9月1日午後5時頃、散歩途中、イソヒヨドリ♀1が住宅地の電柱にとまっていた。最初、ムクドリかと思ったが、シルエットが少し違うなと感じ双眼鏡で見るとイソヒヨドリだった(進士悦行)。

春日部市武里中野(53397640) ◇9月4日午後2時10分頃、自宅近くの安之堀川(排水路)に群生するヨシの袂辺りで採餌するバン成鳥1羽を認めた(石川敏男)。

桶川市舎人新田調整池 ◇9月5日午前6時、ゴイサギ190±、この場所で最多。成鳥3割、幼鳥7割(小貫正徳)。

蓮田市駒崎 N36. 0107 E139. 6248 ◇9月6日、田んぼでタシギ3、足元から飛び立った(関口明宏)。

さいたま市岩槻区仲町2丁目 ◇9月9日、永島医院の駐車場で車を降りたら、シラコバトの声。姿は確認できなかったが、久しぶりに声を聞いた(藤原寛治)。

表紙の写真

チドリ目シギ科オオハシシギ属オオハシシギ

2019年11月29日午前9時54分、川越市の伊佐沼で撮影。
田口勝利(さいたま市)



行事案内



トラツグミ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1 月 4 日 (土)

詳細は、2019 年 12 月号をご覧ください。

深谷市・仙元山公園探鳥会

期日：1 月 5 日 (日)

集合：午前 9 時、JR 高崎線 深谷駅南口ロータリー。

担当：新井、小渕、倉崎

見どころ：昨年は、毎年現れていたトラツグミに会うことができませんでした。今年こそ新年早々に再会できることを期待。

久喜市・久喜菖蒲公園探鳥会

期日：1 月 9 日 (木) 平日

集合：午前 9 時 15 分、久喜菖蒲公園駐車場。

交通：JR 宇都宮線 白岡駅西口から朝日バス 菖蒲仲橋行き 8:36 発で、「除堀(よけぼり)」下車、徒歩約 15 分。除堀バス停からご案内します。

担当：長嶋、石川(敏)、植平、佐藤(宏)、竹山、中川、吉原(俊)、渡邊

見どころ：昨年は順光でのヨシガモを筆頭に 12 種類のカモ。小鳥ではジョウビタキ、シメ、カワセミ等も。さて、今年は？

松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会

期日：1 月 11 日 (土)

集合：午前 9 時、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟前。

交通：東武伊勢崎線 せんげん台駅東口、茨

急バス③番乗り場から松伏町役場行き 8:48 発で「まつぶし緑の丘公園」下車。

担当：橋口、石川(光)、植平、佐藤(宏)、佐野、進士、長野、山部

見どころ：公園の池にカモ 7 種。古利根川では、いつものイカルチドリ、イソシギなど。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1 月 12 日 (日)

集合：午前 9 時 40 分、秩父鉄道 大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:21 発、または寄居 8:59 発に乗車。

担当：茂木、新井、大畑、倉崎、飛田、中川、村上(政)

見どころ：冬鳥の元気な姿と鳴き声を求めてフィールドへ。シメ、ツグミ、モズ、ジョウビタキの常連と赤い鳥たちとも会える観察会に、みなさん集合しましょう！！

さいたま市・民家園周辺臨時探鳥会

期日：1 月 12 日 (日)

集合：午前 9 時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

担当：伊藤、大井、須崎、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ：水鳥の楽園へようこそ！ 冬のこの時季の第 1 調節池では、運が良ければ 10 種類以上のカモ類や、ハクチョウ、カイツブリ類が姿を見せてくれます。

ご注意：状況によっては、コースを変更する

場合があります。コース途中でトイレがありません。風を遮るものが無いので、強い風が吹くとかなり寒いです。防寒対策をしっかりとお願いします。

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：1月12日（日）

集合：午前9時30分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。注：JR 船橋駅での受付はしません。

交通：JR 武蔵野線 南浦和7:44→西船橋で総武線8:35に乗換え、船橋8:38着。京成バス9:00発 船橋海浜公園行きに乗車し、終点下車。京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。リーダーが案内します。

担当：菱沼(一)、佐久間、佐野、杉本、渡邊
見どころ：今シーズンもビロードキンクロが戻ってきたようです。探鳥会までいてくれるといいな。埼玉のリストにないミヤコドリ、ミユビシギも見られます。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：1月13日（月・祝）

集合：午前9時20分、森林公園南入口前。

交通：東武東上線 森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス 9:00 発で「滑川中学校」下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」は通過して下さい。

費用：参加費以外に入園料大人450円、中学生以下無料、65歳以上210円(要年齢確認)。

担当：中村(豊)、鈴木(秀)、大畑、岡安、佐久間、藤掛、藤澤、松下

見どころ：冷え込みの厳しい時季ですが、冬鳥たちは勢揃いしているはず。陽だまりを求めながら、山田大沼まで約3kmのハイキング。多少のアップダウンがあります。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：1月13日（月・祝）

集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

交通：東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナース行き 8:41 発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。

担当：石川(敏)、青山(美)、佐藤(宏)、佐野、

進士、長野、橋口

見どころ：雑木林、ハス池、田んぼ、ヨシ原、屋敷林などを巡る小鳥中心の探鳥。ツグミの仲間4種やセキレイ科4種の出現を期待。冬鳥も楽しみましょう(途中、トイレ休憩あり)。

帰りのバス：下車バス停の反対車線のバス停 発 13:07、14:20 (11月現在)。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：1月18日（土）

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。

または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武線 新越谷7:19→春日部7:36→南栗橋で新栃木行きに乗り換え柳生8:07着。または JR 宇都宮線 大宮7:03→栗橋7:38着、東武線 新栃木行き 7:57 発に乗り換え柳生8:07着。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当：佐野、入山、植平、佐藤(宏)、進士、野口、山本(巧)

見どころ：冬鳥が出揃い、最も鳥の多い時季。谷中湖を渡るコースでカモや猛禽、小鳥類を探します。防寒対策は十分に！

埼玉 Young 探鳥会 群馬県板倉町・渡良瀬遊水地

期日：1月18日（土）

集合：【電車の方】13時、東武日光線 板倉東洋大前駅東口。【車の方】13時20分、渡良瀬遊水地 想い出橋駐車場

解散：17時ころ、渡良瀬遊水地内（解散後、駅まで先導します）。

担当：廣田、石塚(敬)、石塚(真)、市原、大林、河邊、島崎、高崎、村上(将)

見どころ：恒例の「チュウヒのねぐら入り観察会」です。ねぐら入りポイントまで冬の小鳥たちと湖の水鳥を探し、夕方からはチュウヒのねぐら入りを観察します。若者の皆様、ご家族連れ、初心者の方様のお越しをお待ちしております。

ご注意：①極寒期なので、寒さ対策をしっかりとお願いします。②解散後は暗くなっていますので懐中電灯等をご持参ください。

さいたま市・大宮市民の森探鳥会

期日：1月18日（土）

集合：午前9時、JR宇都宮線 土呂駅東口。または午前9時20分、市民の森入口前（土呂駅東口から徒歩約5分）。

担当：青木、浅見（徹）、柏瀬、小林（み）、田中、藤原、山田

見どころ：市民の森のとある場所に腰を据えて野鳥を待つ定点探鳥会。歩くのが苦手な方にお勧め。携帯椅子があると便利。**会員限定**。「光学機器お試し企画」あります。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：1月18日（土）午後3時～4時ころ
会場：会事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：1月19日（日）

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

交通：JR 北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50m先左手バスターミナルから8:23 発東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林（み）、浅見（健）、青木、楠見、小菅、須崎、畠山

見どころ：ひととおりの揃った冬の鳥たちを訪ね歩きましょう。お天気が良ければ遠くの山並みウォッチングも楽しめます。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：1月22日（水）平日

集合：午前9時、羽生水郷公園北駐車場。

交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート（ムジナもん号）を利用。東武伊勢崎線 羽生駅東口 8:04 発→南羽生駅 8:21 発→「キャッセ羽生・水郷公園」下車、県道を渡り公園へ。

共催：羽生水郷公園管理事務所

担当：相原（修）、相原（友）、新井、植平、竹山、飛田、中川、茂木

見どころ：平日の静かな公園で冬鳥を観察します。ヨシ原のオオジュリンやベニマシコ、水辺のヨシガモや他のカモ類、上空を飛ぶ

タカ類を探しましょう。

注意：帰りのバスは 14:50 発です。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：1月25日（土）

集合：午前9時、環境学習館前。

交通：JR 宇都宮線 蓮田駅東口から朝日バス 8:50 発 国立東埼玉病院行きで「新井団地」下車。バス停からご案内します。

担当：千葉、青木、石井（健）、内田、小林（み）、田中、長嶋、菱沼（一）、菱沼（洋）、廣田
見どころ：冬鳥のベニマシコ、シメを含め、身近な野鳥をゆっくりと観察しましょう。上空の猛禽も期待です。

ご注意：車で来られる方は、出発地点の環境学習館ではなく、北側にある“緑のトラスト保全第11号地 黒浜沼駐車場”（環境学習館まで徒歩1分）を利用してください。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：1月26日（日）

集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。

交通：西武新宿線 本川越 8:43 発、所沢 8:38 発に乗車。

解散：正午ころ、稲荷山公園。

担当：長谷部、石光、佐藤（久）、島崎、鈴木（秀）、中村（祐）、藤掛、星、水谷、山口、山本（真）

見どころ：今年の台風で様子が一変した入間川。今までどおりの鳥たちが来てくれるのか、それとも新しい環境にメンバーが変わるのか、見守りたいと思います。

長瀬町・宝登山探鳥会

期日：1月26日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道 長瀬駅前。

交通：秩父鉄道 御花畑 8:59 発、または寄居 9:04 発（熊谷 8:26 発）に乗車。

担当：井上、近藤、佐久間、佐野、堀口、松下
見どころ：寒さ本番です、赤い鳥・青い鳥、イカル、アオゲラに期待しましょう。

その他：長瀬駅前からハイキングコースを宝登山山頂まで歩きます。持ち物は飲み物、昼食など。山頂はロウバイが見ごろだと思います。

※P4に、くはみ出し行事案内>があります。



行事報告

7月13日(土) 越谷市 サギのコロニー

参加：20(会員15)名 天気：晴

ゴイサギ アマサギ アオサギ ダイサギ チュウサギ コサギ(6種) このサギのコロニー(中川右岸、越谷市中島)は2000年ごろから形成されるようになった。毎年3月末ごろから9月半ばまでコロニーが形成されている。対岸(中川左岸、吉川市)の定点からサギ6種約1,000羽を観察した。(橋口長和)

8月10日(土) 越谷市 サギのコロニー

参加：18(会員16)名 天気：晴

ゴイサギ アマサギ アオサギ ダイサギ チュウサギ コサギ(6種) 7月と同様に、対岸からサギ6種約1,000羽を観察した。その後8月13日までは同様だったが、アマサギ、チュウサギが減り、9月9日には約500羽、9月18日には約300羽に減り、翌19日に0となった。(橋口長和)

8月17日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：9名

宇野澤晃、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、三ツ矢正安

8月18日(日) さいたま市 三室地区

参加：17(会員15)名 天気：晴

キジバト アオサギ ダイサギ アマツバメ トビ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス ツバメ ヒヨドリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ(14種)(番外：ドバト) 暑さ指数は「厳重警戒」。それでも見沼代用水沿いの小道は木陰が続き、涼しい。樹木の力は偉大だ。空を飛び回る1羽、ツバメにしては、ちょっと変。「アマツバメだ！」南へ向かう途中なのだろう。厳重警戒の暑さの中でも、季節は確実に進む。アマツバメ以降、鳥が出ない。シジュウカラもメジロも、今日は「探鳥会中止」にしたらしい。まだ「厳重警戒」なのだが。(小林みどり)

9月1日(日) 令和元年度リーダー研修会

参加：34名

埼玉県自然学習センターで37回目のリーダー研修会を開催した。午前は、リーダーの心構え等について説明した後、3班に分かれて模擬探鳥会を実施した。鳥が少ない時の対処方法や安全対策への心配りなどをお互い学び合った。午後は、模擬探鳥会を踏まえたグループディスカッションや本部普及室の橋本理華氏による講演「探鳥会におけるリスクマネジメント」などを行った。最後に山部代表から新リーダーへの腕章貸与が行われ、研修会は無事終了した。夕方からは北本駅前の中華料理店「十勝」で希望者による懇親会を開催した。新リーダーは、青山美奈子(さいたま市岩槻区)、石井光夫(吉川市)、山本巧(加須市)の3名(敬称略)。今後の活躍に期待するとともに、探鳥会で彼らの姿を見かけたら激励の言葉をかけて頂ければ幸いである。(長野誠治)

9月7日(土) 長瀬町 羽を知る探鳥会

参加：29(会員27)名 天気：晴

カルガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ ツツドリ トビ カワセミ コゲラ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ メジロ スズメ セグロセキレイ カワラヒワ イカル(21種) 「羽を知る探鳥会」について説明してスタート。岩畳の河原に行き鳥も探す。セグロセキレイの成鳥と幼鳥を見比べ、換羽中のヒヨドリ(ボサボサの首から頭)を皆さんで見られ、ツツドリも飛んでくれた。メインの羽は、ヒヨドリ・メジロはじめ、竹林近くではサギ類の羽が多数落ちていて、河原ではカワウ、猛禽類の大きな体羽が。皆さんの真剣に羽を探す姿が印象的だった。(井上幹男)

9月15日(日) さいたま市 三室地区

参加：51(会員36)名 天気：晴

キジバト カワウ オオタカ カワセミ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ エナガ ムクドリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ(18種+タカ科不明種+ハイタカ属不明種)(番外：ドバト) まだまだ暑い。日陰中心のコースを歩いたが、若干曇ってきたので芝川まで出向くように急遽変更。モズの高鳴きも始まり、

秋を実感。上空遥かにサシバラしき鳥がいたが、あまりにも高いので観察種にはいれず。又、オオタカ？ハイタカ？と迷う猛禽も出現したが、結局識別を諦め、これもまた観察種に含まず。猛禽達よ！もう少し近くを飛翔してくれ！（青木正俊）

9月16日（月、祝） シギ・チドリ類調査

豪雨のため中止。（石井 智）

9月18日（水） 長野県松本市 白樺峠

最少催行人員に達せず中止。（入山 博）

9月21日（土） 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：10名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、志村佐治、藤掛保司、三ツ矢正安、吉原早苗、吉原俊雄

9月22日（日） 狭山市 入間川

参加：22(会員20)名 天気：晴

カルガモ カイツブリ キジバト アオサギ ダイサギ イソシギ カワセミ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ イソヒヨドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (21種) (番外：ドバト) 9月は渡り途中の鳥に期待するのだが、残念ながら見られなかった。なぜか5月、7月には見られないイソヒヨドリが戻ってきた。カワセミがカニを食べる姿をすぐそばで見たりして、種類は少ないもののなかなか楽しい1日だった。（長谷部謙二）

9月28日（土） 松伏町 松伏記念公園

参加：37(会員35)名 天気：晴

カイツブリ キジバト アオサギ ダイサギ チュウサギ バン タシギ トビ ノスリ カワセミ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ メジロ エゾビタキ スズメ カワラヒワ (22種) (番外：ドバト) 池に出ると早速カワセミが姿を見せた。池にはカイツブリとバン、高木にはモズに加え、エゾビタキも。後半は田んぼでサギを探す、今回はアオサギ、ダイサギ、チュウサギの3種まで。湿った田んぼに近づくと、1羽、2羽とタシギが飛んで行く。10羽近くは飛

んで探鳥会を締めくくってくれた。（佐野和宏）

10月6日（日） 北本市 石戸宿

参加：35(会員34)名 天気：曇一時雨

コジュケイ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト アオサギ バン ツミ カワセミ コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ エゾビタキ キセキレイ (23種) (番外：ガビチョウ) 開会の挨拶中にエナガの群れが、続いてシジュウカラ、メジロ、コゲラ、ヤマガラの大きな混群。ふれあい橋からユリノキの天辺の枯れ枝にヤマガラ2羽、アカゲラ♀。木道で雨が降り出し、端まで巡り急いでセンターに戻る。途中カワセミの池で往路はキセキレイ、復路はカワセミ。センターで雨宿り。コース変更を決め、説明後出発。現地は静寂。待てど鳥影無し。待ちくたびれたころ「奥の木にツミ！」の声。ツミ♂がじっと小鳥の飛来を待っていた。みんなでじっくり観察。道理で小鳥が来ない筈だ。最後は、センター前のふれあい橋からユリノキの天辺のエゾビタキを観察。（吉原俊雄）

10月6日（日） 川越市 伊佐沼 Young

参加：42(会員27)名 天気：曇時々雨

ヒドリガモ マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ チュウサギ コサギ ムナグロ イカルチドリ コチドリ セイタカシギ ツルシギ アオアシシギ イソシギ オジロトウネン ユリカモメ クロハラアジサシ トビ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ムクドリ エゾビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ (35種) (番外：ドバト) スタート地点にエゾビタキ、沼南側にはセイタカシギ、クロハラアジサシ、たくさんのコガモたち。沼北側ではツルシギ、アオアシシギが休息中、オジロトウネン、コチドリ、イカルチドリが干潟状の場所にいた。帰り際にはムナグロが飛来。探鳥会終了後に公園でお茶会をしていたら、見たことのない鳥が飛び回った。なんとヨタカ！嬉しいサプライズ。（廣田純平）

10月6日（日） さいたま市 民家園周辺

雨のため中止。（大井智弘）



連絡帳

●関東ブロック協議会に出席

2019 年 9 月 28 日(土) ~29 日(日)、千葉県銚子市の犬吠埼ホテルで、日本野鳥の会千葉県担当の関東ブロック協議会が開催されました。9 支部と財団本部から合計 36 名が集まり、「熱中症危険度数に応じた探鳥会開催」「個人情報管理」などについて、様々な意見と情報を交換しました。

当会からは、小林みどり副代表と、佐野和宏 IT 委員会委員長の 2 名が出席しました。

●連携団体全国総会に出席

2019 年 11 月

9 日(土) ~10

日(日)、千葉県

千葉市のクロス

ウェーブ幕張で 2019 年度

日本野鳥の会

連携団体全国

総会が開催され、全国 46 団体から 59 名と、

財団本部の役員、事務局員などが集まりました。

「太陽光発電について」などの財団からの

報告、「シルバーバードウォッチングのその後」などについての連携団体からの報告、各

ブロックからの報告などが行われ、当会からは山部直喜代表(写真右、同左は上田恵介会

長)が 2 日間、海老原美夫副代表が 1 日目のみ出席しました。

●探鳥会の中止

台風の影響による公園閉鎖が続いている

ため、11 月 27 日(水)、12 月 18 日(水)、1

月 5 日(日)に予定されていた彩湖探鳥会は、

中止となりました。



●会員数は

12 月 2 日現在 1,565 人です。

活動と予定

●11 月の活動

11 月 8 日(金) 12 月号校正作業(海老原美夫、山部直喜)。11 月 9 日(土) 同(相原修一、海老原教子、佐久間博文、志村治佐、長嶋宏之)。11 月 10 日(日) 同(海老原美夫)。

11 月 16 日(土) 12 月号を pdf 化し、本部総務室に送信、全国配布を依頼(海老原美夫)。

11 月 17 日(日) 役員会(司会:近藤龍哉。2020 年 1-4 月行事予定の変更、など)。

11 月 18 日(月) 『野鳥』誌と同封発送しない会員向け『しらこぼと』12 月号を郵便局から発送した(海老原美夫、山部直喜)。

●1 月の予定

1 月 5 日(日) 編集部会(午後 4 時から)。

1 月 11 日(土) 2 月号校正(午後 4 時から)。

同日 県東部での出張普及部会(午後 1 時 30 分から、会場未定)。

1 月 18 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

1 月 19 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

明けましておめでとうございます。

旧年中は大きな事故もなく喜ばしいことです。これも会員の皆様が、会の運営に大変ご協力くださった賜物と感謝いたしております。

2020 年がさらに充実した年となるためには改善点は多々あります。その一つに組織の交代があると思います。例えば私は、編集部長を 17 号から務めています。着眼大局、着手小局。できるところから少しずつ進めて行きたいと考えています。

会員の皆様にとって、新しい年が佳き年になりますようお祈りいたします。(山部)

しらこぼと 2020 年1月号(第 430 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目 26

番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org

編集部へへの原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635

〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番 23 号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。

印刷 関東図書株式会社